

シラバス (授業概要)				年度	
				2024 年度	
				科目コード	
				D-K01	
授業科目名			授業形態		学科・コース
WINDOWS 演習			演習		建築科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	30	1	石黒いずみ
授業の目的・到達目標					
現場報告書等に利用されるワープロ・表計算ソフトの操作、使用方法について学習し、通信文や表を作成することができる。					
授業の概要					
ワープロ・表計算はもとより、メール交換やweb検索などネット社会で必要とされるパソコン全般に対する知識を深める。OS基本操作から始め、画像を含む簡単な文書作成を行う。					
成績評価の方法					
実技試験・課題提出状況・学習態度等で評価する。 特に提出物に関しては締切厳守とする				実技試験	50%
				課題	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
30時間でマスター Office 2019 (実教出版) ワープロ検定・表計算検定問題集 (日本情報処理検定協会)					
授業内容・授業計画					
1. Microsoft Word		時間数	2. Microsoft Excel		時間数
①基本入力練習 自己紹介の作成		2	①基本表作成 式の入力・再計算・表作成		1
②ビジネス文書の作成		2	②課題問題1		
③表作成		2	③基本関数 (SUM・AVERAGE・MAX・MIN・		1
④ワードアートの活用		1	COUNT・COUNTA)		2
⑤Word を使った作品		1	④課題問題2		
⑥Word 実技試験		1	⑤グラフの活用		1
⑥検定対策・検定実施		6	⑥課題問題3		1
			⑦その他の基本関数		1
			⑧Excel 実技試験		1
			⑧課題問題4		1
			⑨検定対策・検定実施		2
					4
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	D-K02
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアプランニング I		講義・演習		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	30	1	長崎 一郎・大石 沙友里
授業の目的・到達目標					
<p>「なぜ人は働くのか」通常、「経済的理由・社会的理由・個人的理由」と言われるが、どれに重きを置くかは、それぞれの価値観と置かれた環境に大きく影響される。この授業は、現実の社会、企業が求める人材、雇用情勢の把握と、その中で自分のあり方についての理解（自己分析）を深め、そこから進路選択につながるキャリア形成プランニングを体系化していく。さらに早い時期から就職活動への意識を高め、その実践的ノウハウを習得する。変化していく雇用環境に対応できる自立人間と自律人材になることを目標とし、その礎となる授業である。</p>					
授業の概要					
<p>キャリアデザインの考え方を理解し、社会に通用する人材になるための指標を持つ。時間の意識・挨拶等マナーの理解と実践・スピーチカトレニング・ディスカッション等によりEQコミュ ニケーション力の強化も図る。就職環境・業種・職種・企業の理解促進。自己分析のワークシート（課題）と履歴書（課題）を作成し、今後の就職活動にも連動していく。</p>					
成績評価の方法					
<p>出席日数・キャリアデザイン自己分析ワークシート記入内容・履歴書記入内容・レポートの結果 や取組み状況に基づき、成績評価を行う。ワークシートへは詳細に記入することを心掛けてください。</p>					<p>課題 80% 学習意欲 20%</p>
使用テキスト・教材					
<p>「就活のコツ／静岡新聞社」 授業に関するテキスト以外の資料は、授業の中で適時プリントを配布します</p>					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
1 ①就職できる力／ワーク①天職探索	2	10 ⑩エントリーシート ⑪自己PR動画	2		
2 ②夢を描く／ワーク②10年後のやりたい自分 ワーク③学生生活経歴書	2	／ワーク⑬エントリーシート ワーク⑭自己PR			
3 ③業種・職種の理解／ワーク④成功体験	2	11 ⑬面接の受け方	2		
4 ④何ができる何がしたい ⑭ステップアップ ／ワーク⑤失敗体験	2	⑮集団・グループディスカッション			
5 ⑤自分を知る自己分析／ワーク⑥自己ワークシート	2	⑯オンライン面接			
6 ⑥⑦求人票・求人情報／ワーク⑦他己ワークシート	2	／ワーク⑰面接対策 ワーク⑱面接質問			
7 ⑧職場訪問／ワーク⑧仕事探索 ワーク⑨未来予想 ワーク⑩未来スケジュール	2	※「学校指定」履歴書提出			
8 ⑨インターンシップ ／ワーク⑪就職条件⑫インターンシップワーク	2	12 ⑰添え状	2		
9 ⑨履歴書／ワーク⑮履歴書※「学校指定」履歴書	2	⑱電話のかけ方			
		⑳筆記試験			
		／ワーク⑳封筒・添え状・お礼ワーク			
		13 キャリアデザイン論総括	2		
		14 就職ゼミ	4		
その他		関連科目			
企業が求める常識力、規律意識、ビジネスマナーを授業でも心掛けてください。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	D-K04
授業科目名			授業形態	学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅰ			実技・演習	建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	60	2	大石 沙友里
授業の目的・到達目標					
個人的生活、社会的な団体生活での考え方、協調性を養う。入学式・始業式・終業式・遠足・スポーツフェスティバル・建築見学会など課外でのイベント活動を行い、教員・学生間の信頼を育む。					
授業の概要					
レクリエーション、講演会、展示会見学など課外活動を行う。健全な心身の育成と人格の形成を目的とし、学生相互、および教員とのコミュニケーションを深めるとともに、建築技術者としての資質を養う。					
成績評価の方法					
参加・行動・協調性を評価する。				課題	20%
				学習意欲	80%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 入学式			4		
2. 遠足			8		
3. 建築見学会			4		
4. 始業式			4		
5. 終業式			4		
6. 防災訓練			2		
7. スポーツフェスティバル			8		
8. その他			26		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				D-K06	
授業科目名			授業形態		学科・コース
建築計画 I			講義		建築科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	松永 務
授業の目的・到達目標					
人間の動作寸法を把握した上で、各部屋の基本寸法について学習する。また用途に応じた建築手法を学ぶことで自由設計課題において整合性のとれた図面を描けるようになる。また、現在の建築界で起こっている事象や実例による仕事を通して、建築の役割を学ぶ。					
授業の概要					
住宅、事務所および公共施設の用途に供する建築の特徴を知り、その空間構成や平面計画について学習する。また居住性について文化的側面や人体モジュールから創作できるよう基礎能力を養うと共に、近代建築のから現代建築へ繋がる建築家の思考、更に都市と地域の関係性まで考える姿勢を養う。					
成績評価の方法					
前期及び後期の試験結果と課題演習、授業態度等により評価する。					期末試験 80% 課題 10% 学習意欲 10%
使用テキスト・教材					
建築計画 (実教出版) 建築史 (市ヶ谷出版社)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
・ 第1回～5回 第6章建築の移り変わり			5		
・ 第6回～8回 近代建築家の作品紹介			3		
・ 第9回～15回 第1章建築と環境			7		
・ 第16回～18回 第2章住宅の計画			3		
・ 第19回～20回 住まいの設計プロセス実例			2		
・ 第21回～23回 第5章建築設備の計画			3		
・ 第24回～29回 第3章各種建築物の計画			6		
・ 第30回 第4章都市と地域の計画			1		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。				建築計画II	

シラバス (授業概要)					年度	2024年度
時間数は45分換算					科目コード	D-K07
授業科目名			授業形態		学科・コース	
建築デザイン史			講義		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	4	小林 良行	
授業の目的・到達目標						
日本及び海外の建築に関連するデザインの歴史について、古典様式から現代の主流までを時代順に考察する。特に建築様式については重点的に学習し、建築設計に生かすことができる。						
授業の概要						
日本と西洋における建築の歴史を学ぶとともに、造形デザインの概要的な歴史についても学習する。モノの本質を理解し、各時代・各地域の特性や様式についての知識を習得することで、建築空間におけるデザインの基礎力を養う。						
成績評価の方法						
試験結果および授業態度等を勘案して総合評価する。					期末試験	80%
					課題	10%
					学習意欲	10%
使用テキスト・教材						
建築史 (市ヶ谷出版社)						
授業内容・授業計画						
1. 日本建築史：古代、中世、近世			時間数			時間数
中間試験			12			
2. 西洋建築史：古代、中世、近世			2			
中間試験			14			
3. 近代建築史：西洋、日本の産業革命以降			2			
4. 現代建築史：戦後の日本建築			20			
中間試験			8			
			2			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)				年度	
				2024 年度	
				科目コード	
				D-K08	
授業科目名			授業形態		学科・コース
建築設備			講義・演習		建築科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	坪井 賢一
授業の目的・到達目標					
建築計画の学習を基礎に建築設備計画の方法について習得する。特に環境に影響を及ぼす空調設備や給排水衛生設備について理解し、建築設計に生かすことができる。					
授業の概要					
人が健康的かつ快適に生活するために必要である建築設備について学習する。さらに、住環境創造の一手段としての設備計画がどのように建築とかわりあうかを考える。この科目では特に建築計画と設備設置の方法、空気調和設備、給排水設備、消防設備について学習する。					
成績評価の方法					
期末試験の結果と毎回の小テストによる総合評価とする。					期末試験 60%
					学習意欲 40%
使用テキスト・教材					
「2級建築士学科新体系テキスト 計画」(TAC 出版)					
授業内容・授業計画					
1. 建築設備に関する工学知識と環境の概要	時間数				時間数
1-1 室内環境	4				
1-2 換気	4				
1-3 伝熱・結露	4				
1-4 日照・日射・採光	4				
1-5 色彩・音響	4				
1-6 気象・気候・地球環境	4				
1-7 省エネルギー手法と基準	4				
2. 建築設備の基礎知識と概要					
2-1 空気調和設備	4				
2-2 給排水衛生設備	4				
2-3 照明設備	4				
2-4 電気・輸送設備	4				
2-5 防災・消防設備	4				
3. 試験(前後期試験・試験対策・試験解説含む)	12				
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度		
				2024 年度		
				科目コード		
				D-K09		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
構造力学 I			講義		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	4	佐藤 行彦	
授業の目的・到達目標						
建築構造の部材に働く力と流れを理解する。構造物における力の釣り合いを感覚的に理解できるようになるまで繰り返し演習を行い、建築士試験の構造分野の試験問題が解けるようになる。						
授業の概要						
梁や柱、またラーメン構造に働く外力やそれによって生ずる応力求めることで、構造物に働く力について理解し、安全性について検討できる基礎的能力を養う。また、力学の応用としてトラス構造の解法についても学ぶ。						
成績評価の方法						
前期及び後期の試験結果と授業態度等により評価する。					期末試験	80%
					課題	10%
					学習意欲	10%
使用テキスト・教材						
図説 やさしい 構造力学 (学芸出版社)						
やさしい 建築構造力学演習問題集 (学芸出版社)						
図説 建築資料集 改訂版 (実教出版)						
授業内容・授業計画						
概要		時間数	静定構造物の反力と応力		時間数	
1. 建築構造の役割		1	9. 片持ち梁		7	
2. 構造設計と構造力学		1	10. 静定梁		6	
3. 構造物のモデル化		1	11. 片持ち梁系ラーメン		8	
4. 構造物の分類		1	12. 単純梁系ラーメン		7	
力のつり合い			13. 門型ラーメン		6	
5. 力の合成と分解		4	静定トラス			
6. 力のモーメント		4	14. 接点法・切断法		6	
7. 力のつり合い		4				
8. 力のつり合い条件式		4				
その他			関連科目			
			構造力学 II			

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				D-K10		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
建築構造 I			講義		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	4	望月 恒男	
授業の目的・到達目標						
人間の生活を営む器として建築をとらえ、この建築要素と構築方法を学習する。特に木造建築について重点的に学習し、木造住宅建築図面を理解できるようにする。						
授業の概要						
主として、木造建築物の主要部材とその仕組みについて学習する。さらに、防火、耐風、耐震などの災害への安全性に配慮できる基礎的能力を養う。また、構造計画上必要とされる関係法令についても学習する。						
成績評価の方法						
前期及び後期の試験結果と授業態度等により評価する。				期末試験	70%	
				課題	20%	
				学習意欲	10%	
使用テキスト・教材						
改訂版 図説 やさしい構造設計 (学芸出版社)						
やさしい 建築構造設計 演習問題集 (学芸出版社)						
図説 建築資料集 改訂版 (実教出版)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 木造建築の概要			6	7. 外部仕上げ・内部仕上げ		6
2. 基礎・地業			4	8. 住宅の設備と断熱・防音		4
3. 木材とその接合			4	バリアフリー		
4. 軸組・小屋組・床組・階段			6	9. 木造住宅の生産		4
5. 構造計算の一般知識			4	10. 住宅の耐震・耐風の考え方と実習		10
6. 前期まとめ試験			6	11. 後期まとめ試験		6
その他			関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。			建築構造 II			

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算					年度	2024年度
					科目コード	D-K12
授業科目名			授業形態		学科・コース	
材料実験			実験・実習		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	石崎 哲也	
授業の目的・到達目標						
建築の主要材料である木、鉄、コンクリートの材料特性を学習する。特にコンクリートに関しては品質管理から施工方法、調合強度について理解し実践できる。						
授業の概要						
建築物を構成する主要材料の特性について実験を通して理解する。また、建築部材の性質を知ることによって建築構法を選択し評価・判断する能力を養う。また、総合的に構造物の強さを予測し、快適で安全性の高い建築物を設計・施工する能力を養う。						
成績評価の方法						
実験実習、レポート、授業態度等により評価する。					課題	80%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
建築実習1 (実教出版)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	コンクリートとは何か		2			
2.	材料実験のレポートの書き方と注意		2			
3.	骨材ふるい分け試験		4			
4.	細骨材の比重および吸水率試験		4			
5.	スランプ試験		4			
6.	コンクリートの圧縮試験 (供試体の作成)		4			
7.	コンクリートの圧縮試験 (破壊試験)		4			
8.	フレッシュコンクリートの空気量測定		4			
9.	まとめ		2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				D-K13		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
建築施工 I			講義		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	4	大石 沙友里	
授業の目的・到達目標						
建築施工の品質・安全・経済性・工法について、実際の工事例から工事種別ごとに学習する。日々進歩する施工技術の根拠をふまえて学習し、現場において実践できる。						
授業の概要						
建築は経済的にかつ安全に施工されなければならない。それは様々な条件や状況から適切な判断によって行われている。このことは実務経験が非常に重要であることを示しているわけであるが、建築施工は理論にもとづいて行われなければ均一で安定した生産活動は難しい。ここでは建築工事標準仕様書に照らし、学習を進める。						
成績評価の方法						
試験結果および授業態度を勘案して総合評価する。					期末試験 80%	
					学習意欲 20%	
使用テキスト・教材						
2級建築士学科新体系テキスト 施工 (TAC 株式会社)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1-1:施工計画 1-2:工程計画			4	6-1:鉄筋材料 6-2:鉄筋の加工組立て		4
2-1 節:工事監理業務 2-2:工事管理業務			2	6-3:鉄筋の定着・継手 6-4:配筋		4
2-3:建築工事に伴う渉外諸手続き			4	7-1:型枠材料 7-2:型枠の設計		2
2-4:環境・資源			4	7-3:型枠の加工・組立		2
3-1:地盤調査 3-2:測量			2	7-4:型枠の存知期間		4
4-1:仮設物など 4-2:足場			4	8-1:コンクリートの材料と調合		4
4-3:災害防止対策			4	8-2:製造受入運搬打設養生		2
5-1:土工事 5-2:節:山留め工事			2	8-3:コンクリートの品質管理・検査		2
5-3:節:基礎・地業工事			2	9-1:鉄骨の工場作業		4
				9-2:鉄骨の現場作業		4
その他				関連科目		
				建築施工 II		

シラバス (授業概要)					年度	2024年度
時間数は45分換算					科目コード	D-K14
授業科目名			授業形態		学科・コース	
建築法規 I			講義		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必須	60	4	石崎 哲也	
授業の目的・到達目標						
建築関連法令集を用いて、法の解釈と実施、実例について詳しく学習する。規則の意義を理解した上で法を遵守し、確認申請等の書類を作成できる。						
授業の概要						
建築物は社会的公共性が高く、そこに暮らす人々や近隣環境に大きな影響を与える。そのため、公共の利益を守る手段として建築には法的規制がある。そこで、建築設計において検討しなければならない法的ルールについて規制の根拠とその内容について学習する。ここでは用語の定義から始まり、単体規定を中心に学ぶ。						
成績評価の方法						
前期及び後期の試験結果と課題演習、授業態度等により評価する。					期末試験	80%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
図説 やさしい建築法規 (学芸出版社) 建築基準法関係法令集 (建築資料研究社) 主要法令 [条文] アンダーライン集 (建築資料研究社)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	用語の定義		6			
2.	面積・高さ等の算定		6			
3.	確認申請・建築手続		6			
4.	階段		6			
5.	採光		6			
6.	敷地と道路		6			
7.	内装制限		6			
8.	用途地域・避難施設		6			
9.	建ぺい率・容積率		6			
10.	防火地域・準防火地域		6			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。				建築法規 II		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2024年度	
				科目コード	
				D-K16	
授業科目名			授業形態		学科・コース
建築製図 I			講義・演習		建築科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	180	12	大石 沙友里・荒井 恵子
授業の目的・到達目標					
製図の規約・通則を知り、正しく精度の高い建築製図を作図する。木造住宅をはじめ鉄筋コンクリート造の建築を創作し、図面を完成することができる。					
授業の概要					
図面における線の引き方や図・記号等建築の製図規則を知り、住宅や店舗などの各種用途に供する建築製図及びこれらに関する設計仕様書の作成についても学ぶ。製図実技のトレーニングを行うことで建築技術者としての資質を養い、また建築士資格試験に向けての基礎力を養う。					
成績評価の方法					
課題演習と授業態度等により評価する。					課題 80%
					学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
超入門 建築製図 (市ヶ谷出版社) 住まいの建築設計製図 (学芸出版社)					
授業内容・授業計画					
			時間数	時間数	
1. 線の練習			4		
2. 木造2階建専用住宅 配置図・平面図			20		
3. 木造2階建専用住宅 断面図・立面図			20		
4. 木造2階建専用住宅 矩計図			16		
5. 住宅自由設計 エスキス			30		
6. 住宅自由設計 1/100 CAD 図			40		
7. RC 事務所建築 配置図・平面図			20		
8. RC 事務所建築 断面図・立面図			20		
9. RC 事務所建築 矩計図			10		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。				建築製図 II	

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2024年度	
						科目コード	D-K18	
授業科目名			授業形態		学科・コース			
建築CAD I			講義・演習		建築科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	通年	必須	120	12	望月 翔平			
授業の目的・到達目標								
1. CAD の操作方法を習得する。 2. 建築CAD 検定試験の合格を目標とする。								
授業の概要								
建築CAD 検定試験対策。								
成績評価の方法								
検定試験結果、課題演習、授業態度等により評価する。						本試験	50%	
						課題	40%	
						学習意欲	10%	
使用テキスト・教材								
建築CAD 検定試験 公式ガイドブック (エクснаレッジ) 3級過去問題 (プリント)								
授業内容・授業計画								
			時間数					時間数
1. CAD 概要、基本操作説明			4					
2. 図面トレース 階段			8					
3. 図面トレース 柱・壁・間仕切壁			8					
4. 寸法、文字			4					
5. 検定試験対策			96					
その他				関連科目				
				建築CAD II				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	D-K20
授業科目名			授業形態		学科・コース
建築プレゼンテーション I			演習		建築科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	望月 翔平
授業の目的・到達目標					
1. BIM ソフトを使用し、意図した表現を正確に作り上げられるようになる。 2. 用紙の中で各要素の配置を考え、伝わりやすい資料の作り方を工夫する。					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> 参考建物のモデリングによって BIM ソフトの基本操作を習得する。 各自の設計した住宅を BIM ソフトでモデリングし、パース・図面を作成する。 作成したパースや図面を配置し、プレゼンテーションボードを作成する。 					
成績評価の方法					
演習課題および学習意欲を総合評価して決定する。 演習課題については、正確なモデリングと必要な表現がされた成果物を期限までに提出することが必要。未提出の場合は評価できない。					提出課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
ソフトの基本操作テキスト					
授業内容・授業計画					
			時間数	時間数	
1. テキストに沿って住宅のモデリング			10		
2. 自由設計住宅の BIM モデル作成			30		
2-1. 住宅の BIM モデリング					
2-2. 外観及び内観パースレンダリング					
3. プレゼンテーションボードの作成			20		
3-1. 図面の作成					
3-2. 各図の貼付、大きさの調整、配置					
その他				関連科目	
				建築プレゼンテーション II	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2024年度
					科目コード	D-K22
授業科目名			授業形態		学科・コース	
模型製作			演習		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	90	3	大畑 理江	
授業の目的・到達目標						
<p>模型製作は、建築実務演習の到達点としての位置付けにあり、建築の様々な知識を集約して成立する。ものづくりの楽しさを体感しながら、その造形美について理解を深め、住宅模型が作成できるようになる。</p>						
授業の概要						
<p>模型製作を通し、各部材名称と役割・作業手順について学習する。後半は自由設計した木造住宅の模型製作を行い、建築を3次元でとらえる習慣付けと、形態の重要性について学習する。</p>						
成績評価の方法						
複数の演習課題の成果・提出状況、また学習意欲・授業態度による総合評価とする。					課題	80%
					学習意欲	10%
					授業態度	10%
使用テキスト・教材						
自作テキスト						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 建築模型の基礎、立体表現			6			
2. 模型製作の基礎			12			
3. RC (1K) 模型製作			18			
4. 自由設計による住宅模型の製作			54			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算					年度	2024年度
					科目コード	D-K23
授業科目名			授業形態		学科・コース	
特別講義 I			講義		建築科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	4	大石 沙友里	
授業の目的・到達目標						
建築業界で活躍している先輩から生きた情報と知識を正確にキャッチし、今後の知識習得に活かす。建築見学会などを通じて、座学で学んだ知識を深め現場で生かせる人材になる。						
授業の概要						
建築業に携わる方を招いて実例等を交えた講義を行う。また、各種検定試験の対策授業を行う。						
成績評価の方法						
提出課題、授業態度等により評価する。					課題	80%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
演習課題 (自作)						
授業内容・授業計画						
建設業について			時間数	5. 各種検定対策		時間数
1. 業界・業種の理解			10	色彩検定対策など		20
OB・OGセミナー			10			
2. 卒業生による業務内容の講演						
3. 建設業のキャリアパスについて						
4. 建築見学・建設現場見学			20			
その他				関連科目		